

DATA 2024年のライブ・エンタテインメント市場 (オンラインライブは含まない)

LIVE ENTERTAINMENT MUSIC + STAGE

市場規模は2年連続で過去最高を更新
大規模会場の高稼働と単価上昇で成長が持続

2024 年の国内ライブ・エンタテインメント市場規模 (本書では、音楽コンサートとステージパフォーマンスの推計チケット販売額合計と定義) は 7,605 億円 (対前年増減率 10.9% 増) となった。コロナ禍を乗り越え、大幅に増加して初の 7,000 億台となった。2001 年の市場規模 (2,562 億円) から約 3 倍へ拡大した背景には、都市部アリーナ・ドームでの公演機会の増加と高稼働化、単価上昇による市場押し上げがある。

調査概要

■ 対象範囲

日本国内で開催される各種ライブ・エンタテインメントのうち、一般に開催情報の告知をおこない、かつ一般にチケット販売をおこなう、有料の音楽・ステージ 2 ジャンルのイベント。

■ 集計ジャンル

- 音楽: ポップス、クラシック、演歌・歌謡曲、ジャズ、民族音楽ほか
- ステージ: ミュージカル、演劇、歌舞伎／能・狂言、お笑い／寄席・演芸、パレエ／ダンス、パフォーマンスほか

■ 集計期

各年 1~12 月 (開催日ベース)

■ 集計項目

ライブ・エンタテインメント市場を定量的に把握する指標として、「公演回数」「動員数」「市場規模」を基本 3 指標として推計する。

①公演回数

チケットティング事業者が取り扱っている公演をベースに、開催情報を網羅的に収集し、重複を除いて追加する。

$$\text{公演回数} = \boxed{\text{チケットティング事業者取り扱い公演回数}} + \boxed{\text{その他取り扱い公演回数}}$$

チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、CNプレイガイドが取り扱う公演

興行主催者やアーティストの公表情報、専門誌やフリーペーパーなどの媒体にのみ掲載された公演

②動員数: チケットの推計流通数

公演ごとの設定席数に、販売実績を把握できる公演から算定した席種ごとの実売率を乗じる。

$$\text{動員数} = \boxed{\text{チケット販売数}} + (\boxed{\text{その他設定席数}} \times \boxed{\text{実売率}})$$

③市場規模: チケットの推計販売額 = チケット単価 × チケット推計流通数

公演ごとの席種別推計動員数に各席種単価を乗じる。

$$\text{市場規模} = \boxed{\text{チケット販売額}} + (\boxed{\text{その他販売数}} \times \boxed{\text{単価}})$$

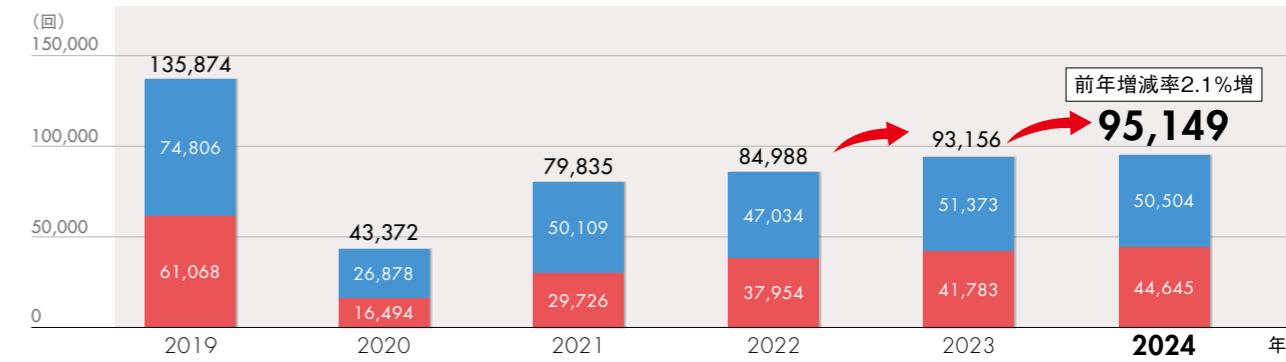


動員数は 8,561 万人 (対前年増減率 7.4% 増) で過去最高を更新し、2019 年比でも 3.4% 増となった。国内外アーティストの大規模公演の増加が動員を支えた。一方、公演回数は依然としてコロナ禍前に届かず、中規模会場の供給制約や制作体制の戻りの遅れにより回復の偏りが残った。

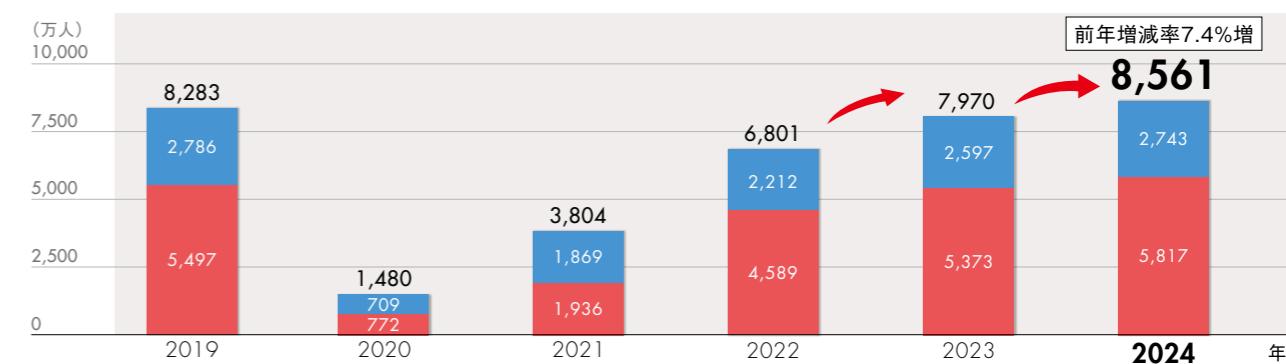


■ 音楽 ■ ステージ

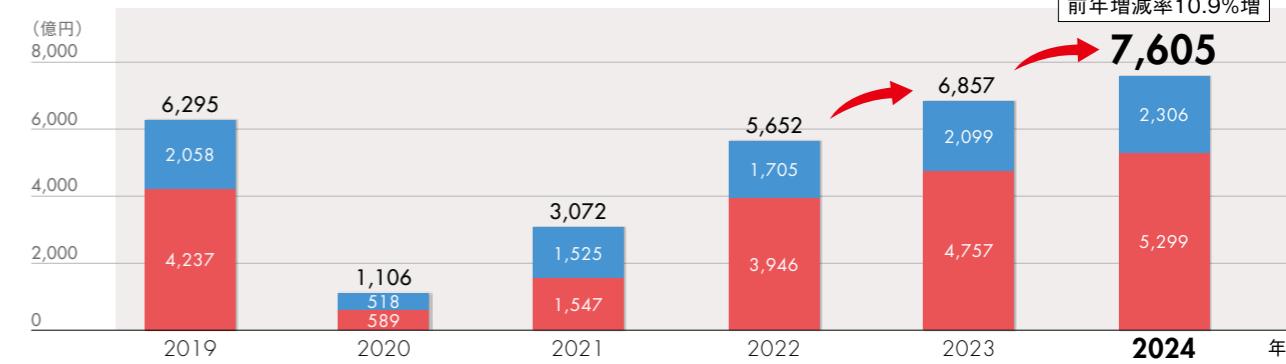
公演回数 公演供給はコロナ禍前水準への回復に課題が残る



動員数 大規模会場を中心に動員回復が進展



市場規模 単価上昇と大規模興行が市場拡大を押し上げる傾向



※四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある。(次項以降も同様)

※対前年増減率は、表示数値と異なり、元データ(百万単位)を用いて算出。(次項以降も同様)